

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	神奈川県	市町村名	鎌倉市
プロジェクト名	環境保全プロジェクト		
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 市民、滞在者、事業者、市が協働して、廃棄物の発生を抑制し、発生した廃棄物はできる限り再使用または再生利用を推進し、循環型社会の形成をめざします。 住環境に対する意識の向上を図るとともに、公害のない清潔で快適なまちづくりをめざします。</p> <p>(具体的な成果目標) ごみ焼却量 平成22年度目標値39,700t(平成18年度実績値41,428t) ごみの発生抑制実践率(市民意識調査) 平成22年度目標値81%(平成18年度実績値77.0%) 市民満足度(市民意識調査(生活環境)) 平成22年度目標値80%(平成18年度実績値75.7%) [市民満足度の内容:鎌倉市はごみを出さない、ごみを再利用するといった、環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまちだと思いますか] 市民一人当たりの公園面積 平成27年度目標値16.4m²(平成18年度実績値5.4m²) 緑の存在感の割合(市民意識調査) 平成22年度目標値94%(平成18年度実績値92.7%) 公園の存在感の割合(市民意識調査) 平成22年度目標値74%(平成18年度実績値72.8%) 市民満足度(市民意識調査(みどり)) 平成22年度目標値63%(平成18年度実績値56.5%) [市民満足度の内容:鎌倉市は豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるよう、積極的な活用を図っているまちだと思いますか]</p>		
プロジェクトの期間	平成18年度から平成22年度まで	政策分野の分類 (①～⑪)	⑩
住民への公表の方法(ホームページアドレス等)	http://city.kamakura.kanagawa.jp/keiki/ganbaru_top.html		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	事業費 (単位:千円)	
生ごみの発生抑制	循環型社会の形成をめざすためには、ごみの発生源や排出源での減量化、資源化を推進することが必要です。燃やすごみの中で半分を占める生ごみの減量化資源化を推進するため、家庭用生ごみ処理機の購入費について助成します。	109,300 (13,430)	
植木剪定材の資源化	循環型社会の形成をめざして、植木剪定材の資源化(堆肥化)を推進します。生成された堆肥は市内の農家や市民に配布し、資源の循環を図ります。	778,720 (150,445)	
深夜花火の防止に関する条例の普及	地域の静穏を保持し、市民の快適な生活環境を保全するため、公共の場所における深夜花火を禁止します。特に、特別対策区域においては、深夜花火防止対策協力員とともにパトロールを実施します。	12,920 (2,125)	
特別緑地保全地区等の指定の推進	緑の基本計画では、特別緑地保全地区等の指定を目標年次を定め推進しています。当面は開発等により指定が難しくなることに対応して公有地化を進めてきた緑地の指定を行い、引き続き法指定をめざして地権者との調整を進めます。	2,000 (700)	
(仮称)山崎・台峯緑地の整備	鎌倉中央公園に隣接する部分を中心に平成17年度に先行取得を行ったちくを含めた区域について都市計画決定、事業認可を取得し、国庫補助を活用しながら土地開発公社からの買い替えを行いつつ、公園整備を図ります。	2,598,780 (623,050)	
鎌倉広町緑地の整備	都市公園(都市林)としての保全・整備を図るため、土地開発公社からの買い替え等を進めつつ、市民との協働により維持管理に努めます。	4,072,000 (509,827)	
総計		7,573,720 (1,299,577)	
その他特記事項			